

あきた労福協

2018年11月1日 No.125

発行所／秋田県労働福祉協議会
 発行責任者 高橋暢嘉
 秋田市中通6丁目7-36 フォーラムアキタ2F
 TEL: 018-833-1875・FAX: 833-0506
 ホームページ <http://akita@rofuku.net>

労福協運動で生活困窮者を支えよう！ ~2018年度秋田労福協研究集会開催~



11月2日（金）フォーラムアキタにおいて52名が参加し、「2018年度秋田労福協研究集会」を開催した。

基調講演として「歴史から学ぶ労働運動・労働者自主福祉運動の理念と課題」と題し、中央労福協講師の高橋均氏が講演した。労働運動と労働者自主福祉運動の歴史を振り返るとともに、労働金庫や全労済が誕生した背景について語った。また、これから時代に向けて、共に運動する主体として労働金庫、全労済、労働組合がそれぞれの役割を果たしていくことが重要であること。最後に「困ったときはお互い様」の言葉で講演を締めくくった。



特別講演としてフードバンクあきた代表理事の林多実氏より「フードバンクあきたの現状と課題」について講演された。秋田県の貧困、子どもの現状について体験談を交えての報告、またフードバンクの活動は、食料を渡すだけでなく心のつながりをつくるきっかけでもあると語った。もしかしたら身近に生活困窮者がいるかも知れないと考えさせられる講演であった。

最後に秋田労福協が、新たに始めた「フードドライブ」の活動結果状況について、秋田労福協推進役の石井が報告を行った。

寄贈された食料品総量は216.5キログラム！

第1回「フードドライブ」の取り組み、ご協力ありがとうございました！



【回収ボックスは、各地区労福協（地協・地連）に設置】

食品を持ち寄り、その食品を生活困窮者支援に取り組んでいる団体に寄贈する「第1回フードドライブ」を実施した。

組合員から持ち寄られた食品（568点・約216.5kg）は、「一般社団法人フードバンクあきた」と「秋田たすけあいネットあゆむ」に寄贈した。たくさんの支援物資ありがとうございました。

[第1回 実施期間 10月15日～26日]

フードドライブで寄贈された食品	
項目	数量
米類・インスタント類・乾麺等	161.2kg
レトルト食品・缶詰・スープ等	16.8kg
菓子類・飲料等	29.1kg
調味料・その他食品	8.2kg
災害備蓄品等	0.1kg
食品以外	1.1kg
計	216.5kg

ライフサポートセンターあきた 相談事例 Q&A 「亡き父の遺産相続手続き」

Q

同居していた父（享年87歳）が、亡くなった。父の生命保険は長女の私が受取人となっているので、保険金は私が受取った。ネットで調べると「生命保険は相続遺産にならない」ようだが、そのような解釈でよいだろうか？他に父名義の預貯金と固定資産（土地・家屋）がある。同じ相続人である他のきょうだい2人との話し合いはまだしていない。これから相続の手続きをしたいと思うが、どのように進めたらよいのか教えて欲しい。



A

1. 生命保険

生命保険は、保険受取人の固有の権利として取得するので、相続遺産とは判断されない。

2. 遺産相続手続き

遺産相続は、あくまで相続人全員の協議がまとまり同意を得られていることが前提ですので、まずはきょうだい3人で話し合い「遺産分割協議書」をまとめてください。

相続手続きは個人でも可能ですが、煩雑な手続きになりますので出来るだけ専門家に依頼する事をお勧めします。



※**遺産分割協議**とは、法定相続人全員で行う「民法と異なる割合での相続財産の分け方を決める話し合いのこと。これは、法定相続人全員が漏れなく合意しなくては成立せず、合意の証明として「遺産分割協議書」という書類を作成し、各人が実印で押印し、印鑑証明書を添付することになっています。

ろうきんの奨学金借換え融資制度

教育ローン
(よりそい)

Yo·Ri·So·I



奨学金のご返済でお悩みの方、ご相談ください

東北労働金庫
ろうきん

ZENROSAI NEWS

【0518A009】



カーライフを応援する、頼れる補償
マイカー共済

自動車総合補償共済

最大22等級・64%割引！

詳しくは全労済のホームページへ！ <https://www.zenrosai.coop/>

全労済

資料請求・お見積のご依頼はこちらまで

**共済
ショップ**

秋田店 **018-824-6031**

秋田推進本部（秋田県労働者共済生活協同組合）

全労済は、當利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただけます。組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

編集後記

秋田労福協の新たな取り組みとして、フードドライブの取り組みを開始した。研究集会のテーマでもある「労福協運動で生活困窮者を支えよう！」の実践である。秋田県内においても子どもの貧困は7人に一人と深刻な社会問題となっている。生活困窮者の実態やフードバンクの取り組み意義を伝えた時、多くの皆さんと共感し、惜しみのない協力をしてくれた。また、労働者自主福祉運動は、原点に立ち帰り「困ったときはお互いさま」の精神のもと「ともに運動する主体」として取り組んでいく必要がある。フードドライブも共通する運動として、ともに支え合う心豊かな地域社会を作るため、労福協構成団体の皆様の協力のもと、継続した取り組みを展開していきたい。（J.I）

WEB
アンケート
実施中！

あなたの声、ご意見をお聞かせください。
「奨学金と教育費負担」のアンケートにご協力お願いします。

実施期限：～2018年11月30日（金）

スマートフォンでQRコードを読み取ってご回答ください。

PCの場合は <https://www.rofuku.net> からアクセスしてください。

